USB Data Adapter Cable for DDI-Pocket

USB-H64 取扱説明書

70643-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

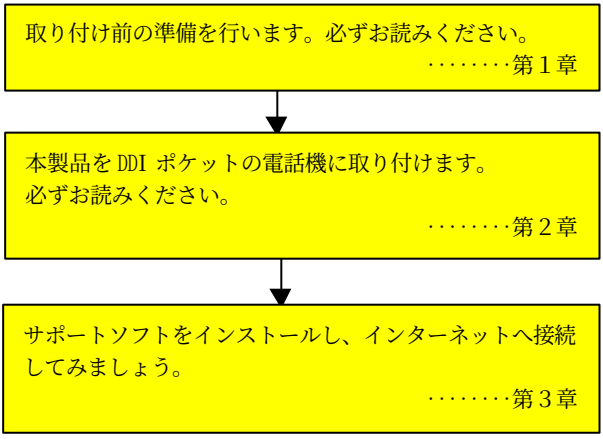
- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- NTT DoCoMo、NTT ドコモは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- ASTEL、アステルは、東京通信ネットワーク株式会社の登録商標です。
- Getweb!は、web technology Corp.の商標です。
- その他、一般にシステム名、サービス名、ソフト名、会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびはUSB接続方式DDIポケット専用通信アダプタケーブル「USB-H64」をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、本書を良くお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
電話機	H"（ｴｯｼﾞ）およびα-DATA32 対応電話機（一部機種を除く）

はじめに…… i
目次…… ii
本製品のご紹介…… v

1 ご使用になる前に 必ずお読みください

箱を開けたら …… 2
ユーザー登録 …… 4
対応している機種とＯＳ …… 5
注意していただきたいこと …… 6

2 電話機と接続する 必ずお読みください

電話機との接続 …… 8

3 Windows 98 で使うには

本章の目次 …… 9

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール……11
インストール終了後の確認と設定……16
インストールした情報を削除する場合……21

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順……22
必要なソフトウェアの確認……23
ダイヤルアップネットワークの設定……24
インターネットを楽しもう……28
通信方式を変えるには……32

添付ソフト編

回線モニターを使う……34
添付ソフトのご紹介……39

4 付　録

困ったときには＜目次＞……42
困ったときには＜内容＞……43
ハードウェア仕様……54
用語解説……55

PLANT コールセンターへのお問い合わせ……57
サポートソフトのバージョンアップ……58
保証について……59
修理について……60

本製品のご紹介

● H″（エッジ）およびα-DATA32対応電話機を使って、手軽に高速モバイル通信

H″(エッジ)ではベストエフォート方式に対応し、最高64kbpsの高速通信が可能です。α-DATA32対応電話機では最高32kbpsでの通信となります。

● USBポート採用で、接続簡単、外部電源不要

パソコンに差し込むだけの簡単接続。バスパワー駆動だから外部電源も不要。

● モバイルに最適な低消費電流設計

パソコン本体のバッテリに負荷をかけない低消費電流設計です。

● ”軽い&小さい”コンパクト設計

使い勝手を最優先し、コネクタを可能な限り、小さくし、軽量化を図りました。外出や出張などの携帯に最適です。スケルトン仕様のスマートデザインです。

● 通信を楽しくするソフトウェアを多数添付

- □ １ケ月の接続時間などがわかる「回線モニター」
  通信中の状態や通信速度、今月の接続時間などがわかる便利ツールです。
- □ H″の使用が楽しく便利になるツール「H″向けアプリケーションソフト」
  Eメール、手書きメール、チャットメール、情報コンテンツをパソコン上で参照したり、H″のアドレス帳や通信履歴をパソコン上で参照・編集できます。
- □ ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!™」
  見たいホームページのURLを指定しておくだけで､自動的にダウンロードしてくれます｡電話回線を切ってからゆっくりとホームページが閲覧できるので､データ通信料の節約になります。
- □ オンラインサインアップ用CD-ROM
  DDIのインターネットサービス「DION」の加入が即時&簡単に行えます。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。

P4　ユーザー登録

ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。

P5　対応している機種とOS

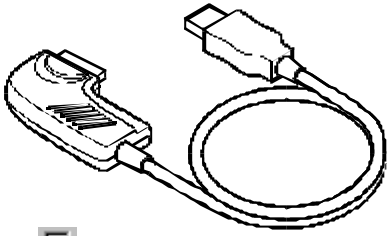
対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか確認してください。

P6　注意していただきたいこと

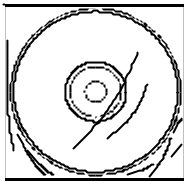
取り付け時や使用時に、してはいけないことなどを説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

箱を開けたら

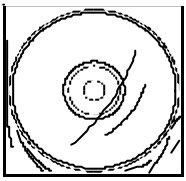
中身を確認してください



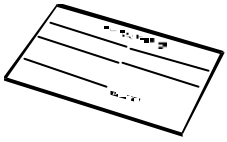
☐ USB-H64 アダプタ（1 本）
ケーブル長約30cm



☐ サポートソフトCD-ROM（1枚）
[Getweb!、H"向けアプリケーション
ソフト含む]

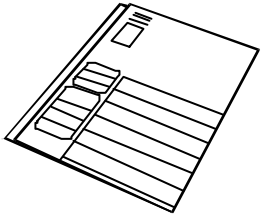


☐ DIONオンラインサインアップ用
CD-ROM（1枚）

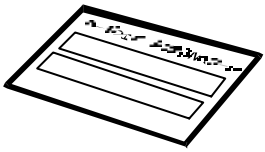


☐ ハードウェア保証書（1 枚）

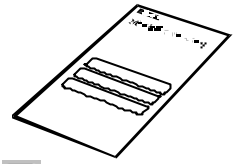
☑ 取扱説明書（1 冊）



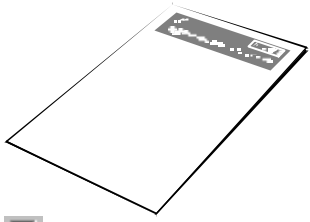
☐ ユーザー登録カード（1 枚）



□ **ハードウェアシリアル No.シール（1 枚）**



□ **Verシール（1枚）**



□ **『安全で快適にお使いいただくために』（1 冊）**

万が一、不足品がございましたら、弊社 PLANT コールセンターまでご連絡ください。

注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録

弊社では、PLANTコールセンターで「サポートソフト」のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。

お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録を行ってください。

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ●オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1．ユーザー登録の際、必要事項の入力漏れ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

2．ハガキでの登録については、登録完了の通知は行っておりません。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

対応機種	USB ポートがあり、MMX Pentium 200MHz 以上の CPU をもつ、以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。）
対応 OS	日本語 Windows 98（Second Edition 含む）
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要。
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

■対応電話機■

対応電話機	DDI ポケット「*H*″（エッジ）」およびα-DATA32 対応電話機（一部機種を除く）

注意！

NTT DoCoMo 社製、アステル社製の電話機ではご使用いただけません。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1）以下の注意事項を守ってお使いください。

- **本製品は次のような場所で使用しないでください。**
  - **・腐食性ガス（Cl_2,H_2S,NH_3,SO_2,NO_xなど）の多い場所**
  - **・静電気の影響が強い場所**
  - **・「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所**
- **電話機の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。**
- **本製品はDDIポケット「*H″*」およびα-DATA32対応端末専用です。NTT DoCoMo社製やアステル社製の電話機ではご使用になれません。**
- **本製品は1台のパソコンに複数個を接続して使用することはできません。**
- **本製品と他のUSB機器（USBスピーカーやUSBモデム[USB-PM560]など）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB機器と併用しないでください。**

2）本製品の内部の点検・修理は弊社修理センターにご依頼ください。(P60参照)
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

2 電話機と接続する

この章では、本製品を H″またはα-DATA32 対応電話機（以下、単に電話機と呼びます）に接続する方法を説明します。本書の図を見ながら、作業を行ってください。なお、**この章ではまだ本製品とパソコンは接続しません。**本製品とパソコンとの接続は第３章で行います。

P8　電話機との接続

電話機と本製品の接続方法を説明します。接続は図を見ながら行ってください。

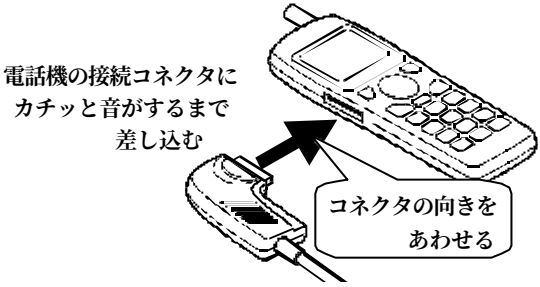
電話機との接続

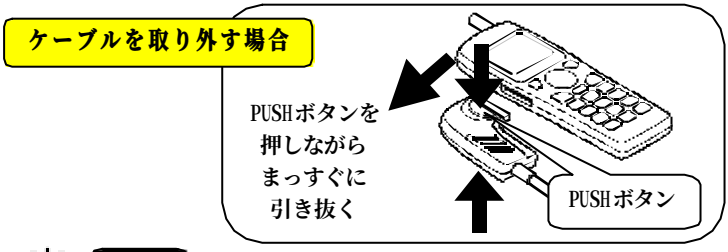
電話機と本製品を接続しましょう。

1 電話機の接続コネクタに付いているカバーを開けます。

電話機の接続コネクタの位置やカバーの開け方は、電話機の取扱説明書をご参照ください。

2 電話機の接続コネクタと本製品のケーブルを接続します。





注意！

1. **本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。**
2. **本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。**

これで接続が完了しました。次は、パソコンへのインストールです。
次ページへ進んでください。

3 Windows 98 で使うには

この章では、本製品をインストールしてインターネット接続する方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 98 で使用するときは、必ず、行ってください。

P11　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P16　インストール終了後の確認と設定

正しくインストールできたかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

P21　インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を止める場合や、再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P22　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P23　必要なソフトウェアの確認

インターネットへ接続するために必要なソフトウェアを確認します。

P24　ダイヤルアップネットワークの設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。

P28　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

P32　通信方式を変えるには

PIAFS 2.1 版に対応していない接続先に接続する場合の方法です。

本製品にはいろいろなソフトが添付されています。ここでは添付ソフトの紹介や説明を行います。必要に応じてお読みください。

P34　回線モニターを使う

通信中にリアルタイムで通信時間や通信速度などを表示するユーティリティです。

P39　添付ソフトのご紹介

その他の添付ソフトを紹介します。なお、これらのソフトのサポートは弊社では行っておりませんので、ご了承ください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、本製品の USB コネクタを差し込むだけで使用できます。

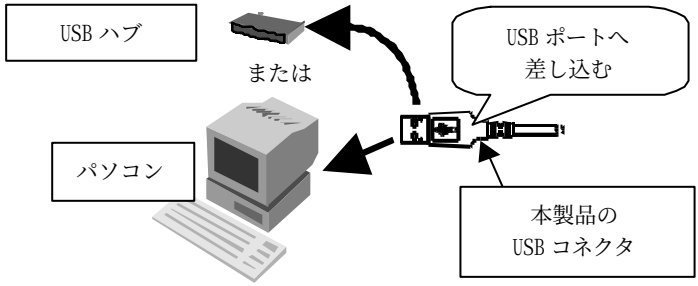
注意！

USB ポートが1つしかなく、CD-ROM ドライブをUSB ポートで使用している場合には、前もって「USB-H64 サポートソフト」CD-ROM ディスク内のWIN98 フォルダをハードディスクにコピーしてください。その場合、以下のインストール時の手順6(P13)ではそのコピー先フォルダを指定してください。
※ハードディスクにコピーする前に「エクスプローラ」を起動し、「表示」→「フォルダオプション」→「表示タブ」で「すべてのファイルを表示する」にチェックを入れておいてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

2 パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



注意！

パソコン（またはUSB ハブ）のUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。

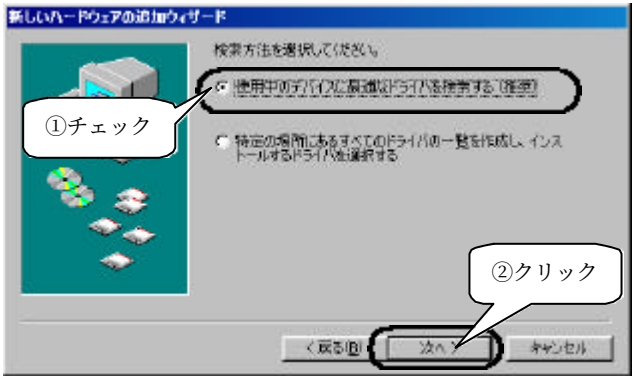
3 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

OS のバージョンによっては、「不明なデバイス」と表示される場合もあります。

この画面が表示されない場合は…

【困ったときには】P43 をご参照ください。

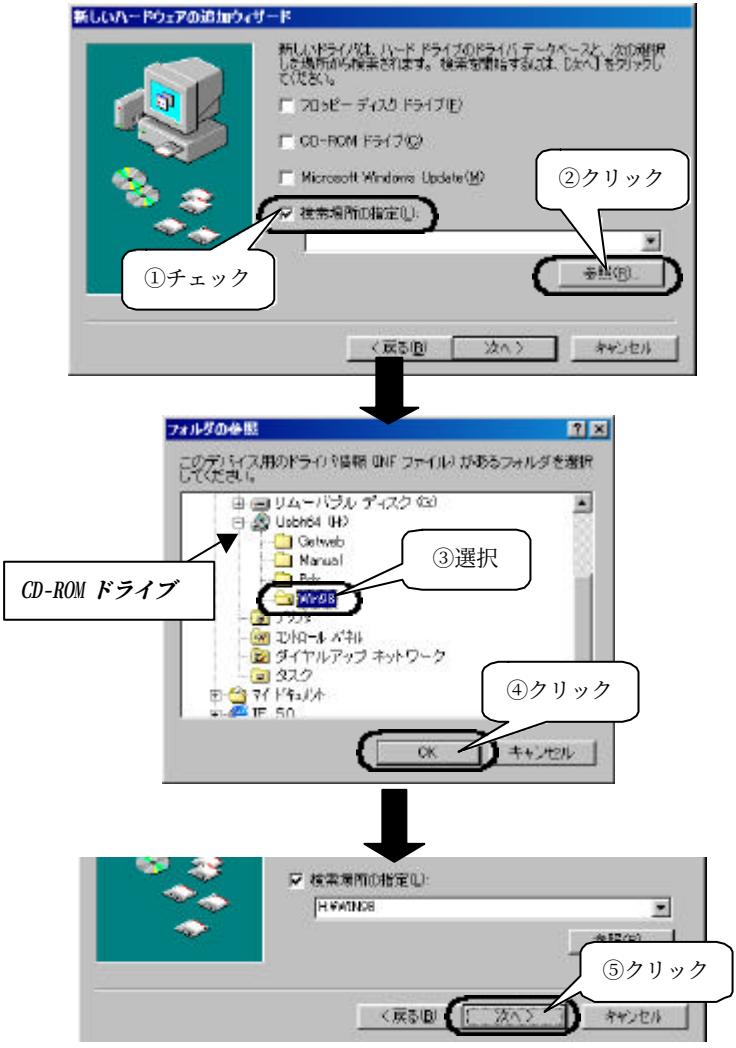
4 「使用中のデバイスに…」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



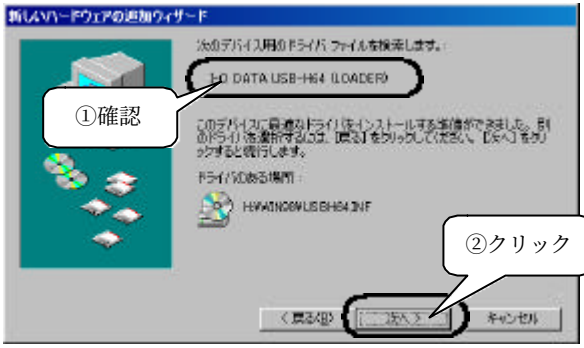
5 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

[検索場所の指定]のみをチェックしてから [参照]ボタンをクリックします。CD-ROMドライブの「WIN98」フォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードディスクにサポートソフト CD-ROM の内容（「WIN98 フォルダ」）をコピーした場合は、コピー先のフォルダを指定してください。



7 『I-O DATA USB-H64』と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された場合は…

【困ったときには】P44をご参照ください。

「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された場合は…

【困ったときには】P45をご参照ください。

8 コピーを開始します。

しばらくして、下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。
この後、自動的にモデムが追加されます。

9 **しばらくして表示画面が消えたら、インストールは終了です。「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブから取り出します。**

次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。

《インストール編》
インストール終了後の確認と設定

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

デバイスマネージャによる確認

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、「プロパティ」を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 「モデム」をダブルクリックして、「I-O DATA USB-H64」が表示されていることを確認します。

「I-O DATA USB-H64」が表示されない、
または「！」マークが付いている場合は…

【困ったときには】P45
をご参照ください。

4 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックして、『I-O DATA USB-H64 Modem』が表示されていることを確認します。

「I-O DATA USB-H64 Modem」が表示されない場合は…

【困ったときには】P45をご参照ください。

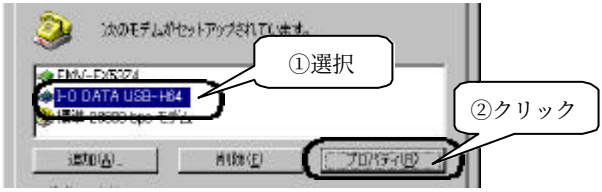
5 [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての確認および設定を行います。

モデムの確認と設定

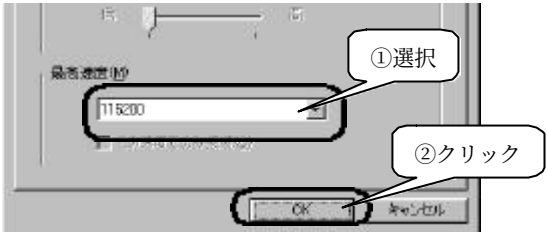
1 『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 『I-O DATA USB-H64』を選択した状態で、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 最高速度を、選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bps が望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。なお、この速度は回線速度ではなくパソコンと本製品間の速度です。



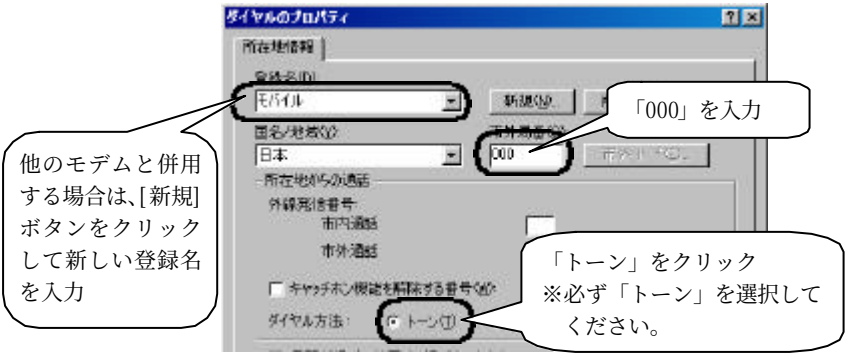
4 [ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

市内局番・・・・・・・・・・・・「000」などの存在しない値

電話をかけるとき必ず市外局番から入力するのでこのような値を設定します。「000」とするのは、電話番号と所在地情報で設定した市外局番が一致した時（つまり市内にダイヤルする時）に市外局番が自動的に省かれて発信することを避けるためです。

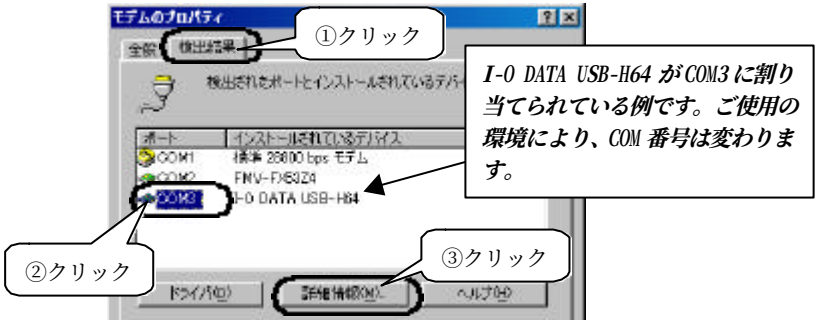
ダイヤル方法・・・・・・・・・「トーン」を選択

（本製品以外のモデムと併用する場合は、［新規］ボタンをクリックしてから新しい登録名を入力してください。）



5 [検出結果]タブをクリックします。「I-O DATA USB-H64」が表示されているポート（下記例ではCOM3の部分）をクリックし、[詳細情報]ボタンをクリックします。

COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



6 「モデムと通信しています」と表示され、しばらくして下記のように表示されます。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]がまっ白ではなく「AT・・・・・」と英数字が表示されることを確認してください。表示されたら、本製品は正常に認識されています。

「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】P46
をご参照ください。

注意！

1．**この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して接続するテストではありません。**
2．**ポートの情報には最高速度として「115 Kボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、P18 の3で指定した速度です。**
3．**応答に「ERROR 」と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。**
4．**割り込み、アドレスには「0 」と表示されますが、動作上問題ありません。**

7 [閉じる]ボタンをクリックし、「ﾓﾃﾞﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。１度これらのインストールを行えば、今後は本製品の USB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは USB コネクタを抜いても構いません。

本製品の使用を中止したいときや、もう１度インストールをやり直したいときは、次ページからの【インストールした情報を削除する場合】をご参照になり、サポートソフトのアンインストールを行ってください。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、P 22 からの【インターネット編】では、インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 **本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品のケーブルを抜きます。**

2 **『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』を開き、『アプリケーションの追加と削除』をダブルクリックします。**

3 **『I-O DATA USB-H64』を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。**

4 **画面の指示にしたがって、アンインストールを進めてください。**

これでアンインストールは完了です。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。ご使用のパソコンでインターネットを行ったことがある場合は、P24【ダイヤルアップネットワークの設定】から行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップIP接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

必要なソフトウェアの確認（P23）

契約したプロバイダと接続するときに必要となるソフトウェア「ダイヤルアップネットワーク」および「TCP/IP プロトコル」（ともにWindows 98 標準ソフト）がインストールされていることを確認します。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定（P24）

本製品を使ったダイヤルアップネットワークを設定します。本製品はPIAFS対応のアクセスポイントのみに接続できますので、接続可能なアクセスポイントの電話番号を必ずご確認ください。

↓

インターネットを楽しもう（P28）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
必要なソフトウェアの確認

ダイヤルアップネットワークの確認

1 『スタート』→『プログラム』→『アクセサリ』→『通信』の中に「ダイヤルアップネットワーク」が表示されることを確認します。

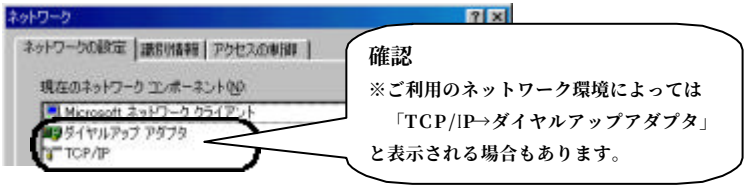
ダイヤルアップネットワークが
表示されない場合は…

【困ったときには】P47
をご参照ください。

TCP/IP プロトコルの確認

1 『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

2 「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



ﾀﾞｲﾔﾙｱｯﾌﾟｱﾀﾞﾌﾟﾀや TCP/IP が
表示されない場合は…

【困ったときには】P48
をご参照ください。

《インターネット編》
ダイヤルアップネットワークの設定

すでにダイヤルアップネットワークの設定を行っていて、使用するモデムのみを本製品に変更したい場合はP27【モデムを変更するとき】をご参照ください。ただし、以前使用していた設定がアナログモデムの場合は、新しく本製品用の設定を作ることをおすすめします。

はじめてダイヤルアップネットワークの設定を行うとき、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、下記の操作を行います。

新しい設定を作るとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。

2 接続名（任意）を指定し、モデムの選択欄から「I-O DATA USB-H64」を選び、[次へ]ボタンをクリックします。

3 PIAFS 対応のアクセスポイントの電話番号を入力し、 [次へ]ボタンをクリックします。

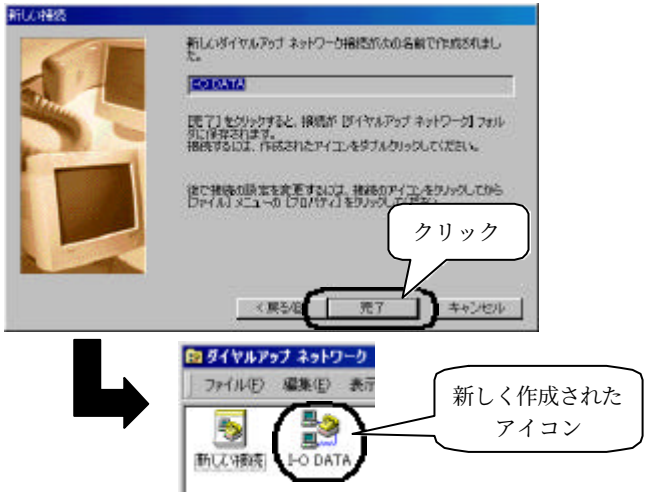
PIAFS 2.1 版に対応していないアクセスポイントでは 64kbps 通信はできません。その場合は電話番号の末尾に「##3」を付けて入力すると、32kbps 通信になります（P32 参照)。アクセスポイントが PIAFS 2.1 版に対応かどうかはプロバイダまたは、DDI ポケットのホームページでご確認ください。

※DDI ポケットホームページ

http://www.ddipocket.co.jp/data/i_64k_pro.html

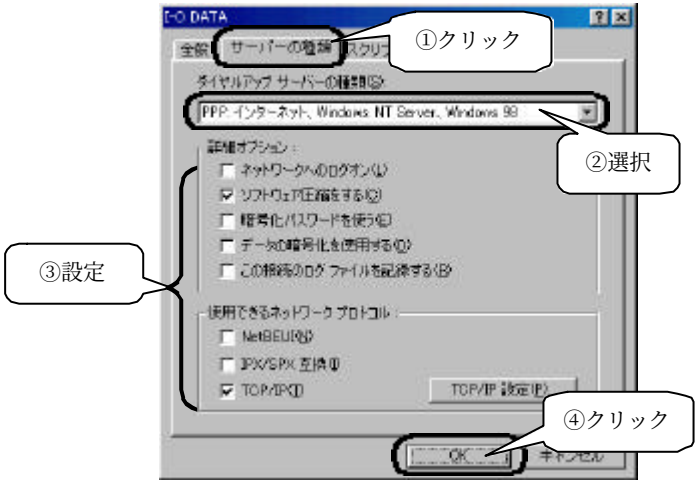
4 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

新しいアイコンが指定した接続名で作成されます。



5 新しく作成されたアイコンを右クリックして、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]をクリックします。

6 [サーバーの種類]タブをクリックし、下記のように設定して、[OK]ボタンをクリックします。



注意！

プロバイダによっては、「TCP/IP 設定」ボタンをクリックし、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、契約したプロバイダにご確認ください。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。P28 からの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

モデムを変更するとき

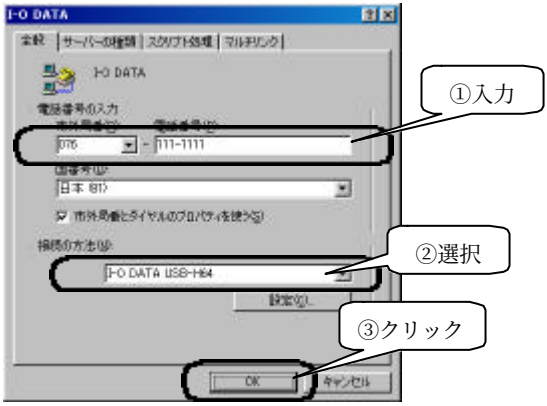
1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

2 PIAFS 対応のアクセスポイントの電話番号を入力し、接続の方法として「I-O DATA USB-H64」を選び、[OK]ボタンをクリックします。

PIAFS 2.1 版に対応していないアクセスポイントでは 64kbps 通信はできません。その場合は電話番号の末尾に「##3」を付けて入力すると、32kbps 通信になります（P32 参照）。アクセスポイントが PIAFS 2.1 版に対応かどうかはプロバイダまたは、DDI ポケットのホームページでご確認ください。

※DDI ポケットホームページ

http://www.ddipocket.co.jp/data/i_64k_pro.html



これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。次ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

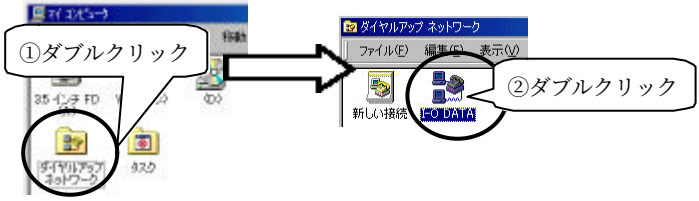
《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

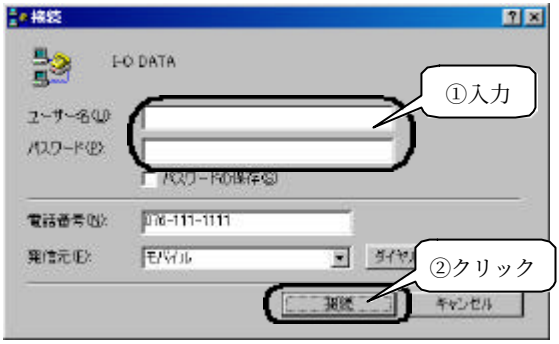
本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



2 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、電話番号が市外局番から表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、電話機が指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。



注意！

1. **パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **他のモデムも併用している場合、発信元として本製品用の所在地情報（P18 の4で設定した登録名）を選択してください。**
3. **[パスワードの保存] をチェックすると、次回からパスワードが「＊」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

3 しばらくして「... に接続中」という画面が消えたら、完了です。

「現在…に接続しています」という画面が表示された場合は［今後、このダイアログ....］をチェック後、［閉じる］ボタンをクリックしてください。
パソコン画面右下のタスクトレイに［接続インジケータ］が表示されます。

エラーメッセージが表示されたり、
正しく接続できない場合は…

【困ったときには】P52
をご参照ください。

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと［接続インジケータ］が表示されています。

5 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。

注意！

1. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。**
2. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**
3. **本製品と他のUSB 機器（USB スピーカーやUSB モデム[弊社製USB-DM560] など）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB 機器を使用しないことをおすすめします。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

《インターネット編》
通信方式を変えるには

本製品は PIAFS 1.0 版（32kbps）と PIAFS 2.1 版（64kbps）の２つの通信方式に対応していますが、ご購入時の設定は PIAFS 2.1 版です。接続先のアクセスポイントが PIAFS 2.1 版に対応していない場合などは、次の方法で通信方式を変更してください。

※初期設定では、PIAFS 2.1 版 対応となっています。

今回の接続時だけ通信方式を変えたい場合

今回の接続時だけ通信方式を変えたい場合は、ダイヤルアップ接続画面（P29 の手順 **2**）の電話番号欄に以下の文字を追加してから、[接続]ボタンをクリックしてください。この設定は１回限りなので、接続が終わったら元の設定に戻ります。

- PIAFS 2.1 版に設定されているときに（購入時）、PIAFS 1.0 版で通信したいとき、電話番号の末尾に「##3」を追加する
- PIAFS 1.0 版に設定されているときに、PIAFS 2.1 版で通信したいとき
  電話番号の末尾に「##4」を追加する

通信方式の設定を保存しておきたい場合

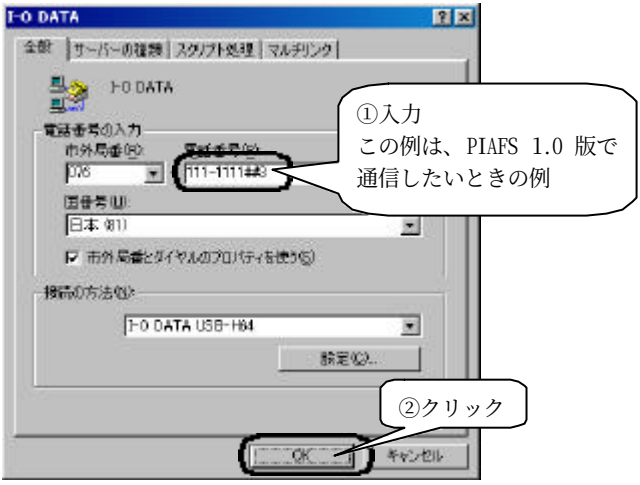
通信方式の設定を保存しておきたい場合は、ダイヤルアップネットワークに登録してある電話番号自体を変更しておくと便利です。

[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

2 電話番号の末尾に、変更したい方式に対応する文字列を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

- PIAFS 1.0 版で通信したいとき
  末尾に「##3」を追加する
- PIAFS 2.1 版で通信したいとき
  末尾に「##4」を追加する、または、電話番号だけにする

電話番号の末尾に何も指定しないときは、PIAFS 2.1 版になります。



3 開いている画面をすべて閉じます。

《添付ソフト編》
回線モニターを使う

回線モニターは、通信中の状況や接続時間や実際の通信速度などを確認できるソフトウェアです。必要に応じて、インストールしてください。

注意！

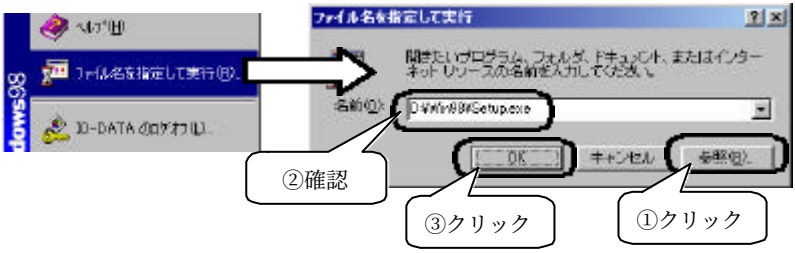
FAX 通信時は通信中の状況や通信速度などを正しくモニタリングできません。インターネット接続時やパソコン通信時にご利用ください。

回線モニターのインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、サポートソフトの WIN98 フォルダにある「SETUP.EXE」を起動します。

[参照]ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブの Win98 フォルダにある Setup.exe を選び、[ＯＫ]ボタンをクリックします。（お使いの CD-ROM ドライブ名がわからない場合は、[マイコンピュータ]を開いてご確認ください。）



3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

途中で「スタートアップへの登録」画面が表示されますが、回線モニターを手動で起動したいときはチェックを外してください。

回線モニターを起動する

回線モニターは通信を開始する前に起動してください。通信開始後に起動しても、モニタリング（通信状態の監視や時間表示など）しません。

1 [スタート]→[プログラム]→[I-O DATA モデムツール]→[回線モニター]を起動します。

2 回線モニターの画面が表示されます。

この時点ではまだ通信が開始されていないので、今月累計接続時間だけが表示されています。

3 ダイヤルアップネットワークを起動するなど、通信を開始すると、モニタリングを始めます。

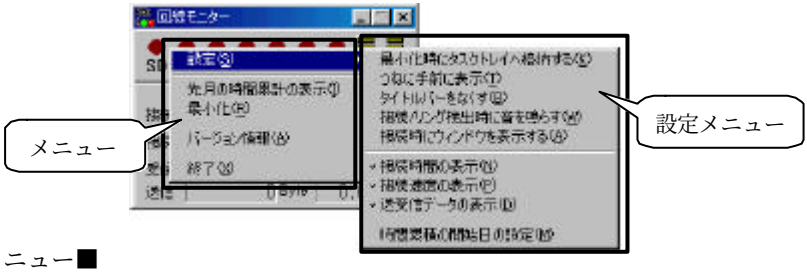
表示内容		意味
インジケータ	ＳＤ	データ送信中に赤ランプ点灯
	ＲＤ	データ受信中に赤ランプ点灯
	ＲＩ	RING 検出したら赤ランプ点灯
	ＣＤ	キャリア検出したら赤ランプ点灯
	ＯＨ	オフフック中に赤ランプ点灯
	ＤＲ	データセットレディ状態で赤ランプ点灯
	ＣＳ	データ送信許可状態で赤ランプ点灯
送受信レベル	ＳＤ	送信レベルを緑色のランプで表示
	ＲＤ	受信レベルを緑色のランプで表示

表示内容		意味
接続時間	今回	今回の接続時間（時：分：秒）
	今月累計	今月になってからの接続時間合計（時：分：秒） ただし、回線モニター起動中の接続時間のみ集計
接続速度		現在、接続している通信速度 パソコンと本製品間の通信速度が表示されます。
受信	Byte	今回の接続の受信データ量（バイト）
	KB/s	現在の受信データの転送速度（K バイト /秒）
送信	Byte	今回の接続の送信データ量（バイト）
	KB/s	現在の送信データの転送速度（K バイト /秒）

4 回線モニターを終了するには、回線モニター画面の[終了]アイコンをクリックします。

回線モニターの各種設定

回線モニター画面で右クリックすると、設定などのメニューが表示されます。



■メニュー■

メニュー項目	意味
設定	各種設定メニューを表示します。
先月の時間累計の表示	先月の接続時間合計を表示します（ただし、回線モニター起動時の接続時間のみ対象）。
最小化	回線モニターを最小化します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
終了	回線モニターを終了します。

■設定メニュー■

メニュー項目の先頭に「レ」印が表示されている状態がＯＮです。

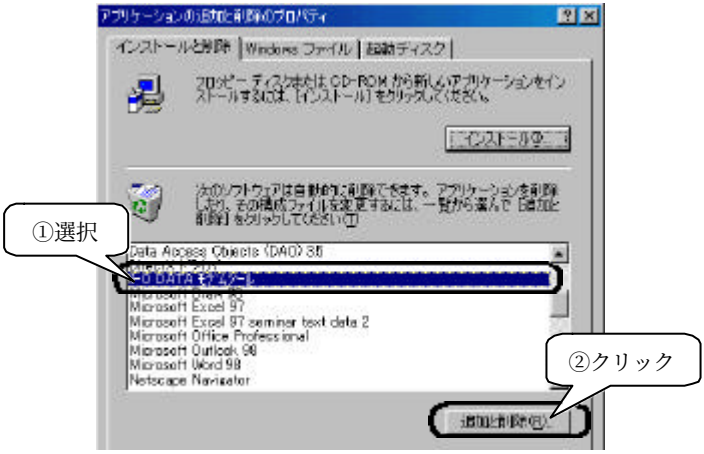
メニュー項目	ＯＮのときの機能
最小化時にタスクトレイへ格納する	最小化したときに、タスクバーでなく、タスクトレイにアイコンを表示します。 《タスクトレイ設定で最小化した時》 このアイコンをダブルクリックすると　回線モニター画面が再表示されます。
	初期値：ＯＦＦ（＝タスクバー設定）
つねに手前に表示	常に他のウィンドウより手前に回線モニター画面を表示します。
	初期値：ＯＦＦ（＝手前表示しない）
タイトルバーをなくす	タイトルバーを非表示にします。
	初期値：ＯＦＦ（＝タイトルバーあり）
接続/リング検出時に音を鳴らす	接続時（CD/OH 検出時）とリング検出時（RI 検出時）に音を鳴らします。
	初期値：ＯＦＦ（＝音を鳴らさない）
接続時間の表示	接続時間（今回、今月累計）を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
接続速度の表示	接続速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
送受信データの表示	送受信データ量と転送速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
時間累積の開始日の設定	接続時間の累計を行うときに、月の開始日を設定します。電話料金計算などの締日と合わせることができます。
	初期値：１日

回線モニターを削除するには

インストールした回線モニターを削除したい場合は、回線モニターが起動されていないことを確認してから、以下の作業を行ってください。

1 **『スタート』→『コントロールパネル』を開き、『アプリケーションの追加と削除』をダブルクリックします。**

2 **『I-O DATA モデムツール」を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。**



3 **画面の指示にしたがって、処理を進めてください。**

これでアンインストールは完了です。

《添付ソフト編》
添付ソフトのご紹介

本製品にはいろいろなソフトウェアが添付されています。ここではそれらの添付ソフトを目的別に紹介します。必要に応じてお使いください。

以下の添付ソフトは使用方法については、弊社ではサポートしておりませんので予めご了承ください。

● H"の機能をパソコンで快適に使いこなしたい <H"向けアプリケーションソフト>

インターネットメール、直接メール、手書きメール、チャットメール、情報コンテンツがパソコンでご利用になれます。また、H"のアドレス帳や通信履歴をパソコンへ転送し、編集することができます。パソコンと本ソフトで、H"の機能をより快適にお使いいただけます。

注意！

1. **本ソフトを使用する際は、使用許諾契約書が適用されます。**
2. **本ソフトの著作権はDDI ポケット株式会社に帰属します。**
3. **弊社およびDDI ポケット株式会社では、本ソフトのお問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。**
4. **弊社およびDDI ポケット株式会社では、本ソフトを利用されたことにより発生した、いかなる損害についても責任は負いかねます。**

※詳しくは、サポートソフトCD-ROM のreadme.txt をお読みください。

● 通話料を気にせず、ホームページをゆっくり見たい <Getweb!>

ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」をご利用ください。

「Getweb!」は、あらかじめＵＲＬを登録しておくことにより、自動的にそのホームページをダウンロードするソフトウェアです。ダウンロード後、電話回線を切って

から、ゆっくりホームページを見ることができ、データ通信料の節約になります。
※詳しくは、サポートソフトCD-ROM の Readme.txt をお読みください。

● 今すぐインターネットを始めたい ＜ＤＩＯＮオンラインサインアップ用ソフト＞

今すぐインターネットを始めようという方のために、オンラインで簡単にプロバイダ契約ができる「DION オンラインサインアップ用 CD-ROM」をご用意しました。
詳しくは、CD-ROM ディスクを参照してください。

● Lotus NOTES で、モバイル通信をしたい ＜モデム設定ファイル＞

サポートソフト CD-ROM に Lotus NOTES 用のモデムファイルが入っていますので、そちらをご利用ください。利用方法は以下の通りです。

サポートソフト CD-ROM の WIN98 フォルダに入っている「USBH64.MDM」というファイルを、Lotus Notes がインストールされているフォルダの Notes\data\modems フォルダに、コピーします。
次に、Lotus NOTES を起動し、以下のような設定を行います。

1. 「ファイル」→「ツール」→「ユーザーリファレンス...」を選択します。
2. ［ポート］をクリックします。
3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。
4. 必要に応じて［ポートを有効にする】を選択してポートを使用可能にします。
5. ［ポートオプション］をクリックします。
   ポートは、接続されているポート名です。例えば、［COM3オプション］をクリックします。
6. モデムの種類を選択します。
7. 追加するモデム設定があれば追加します（省略可）。
8. ［ＯＫ］をクリックします。
9. ［ＯＫ］をクリックして、［ユーザーリファレンス］画面を閉じます。

※Lotus NOTES についてはロータス社にお問い合わせください。

4 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P42　困ったときには＜目次＞

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照ください。

P43　困ったときには＜内容＞

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。
なお、ここには添付ソフトの操作上の疑問などは書いてありません。添付ソフトの詳細については、ぞれぞれのオンラインマニュアルなどをご参照ください。

P54　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。

P55　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには＜目次＞

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	43
本製品が電話機の接続コネクタに入らない	
本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない	
「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された	44
「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された	45
デバイスマネージャの「モデム」の確認で、「I-O DATA USB-H64」が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている	
デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の確認で、「I-O DATA USB-H64 Modem」が表示されない	
モデムの確認で[詳細情報]ボタンをクリックしたとき、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない	46

インターネットに必要なネットワーク構成のトラブル

状態	参照頁
ダイヤルアップネットワークが表示されない	47
ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない	48

インターネットに正しく接続できない場合

状態	参照頁
「発信音が聞こえません」と表示される	52
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される	
「回線が使用中です」と表示される	53
「ダイヤル先のコンピュータから切断されました」と表示される	
接続動作はするようだが、接続インジケータが表示されない	

困ったときには＜内容＞

接続から動作確認まで

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 本製品の USB コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

本製品が電話機の接続コネクタに入らない

原因 電話機の接続コネクタにカバーがかかっている。

対処 接続コネクタにはカバーがかかっている場合があります。カバーを開けてから差し込んでください。カバーの開け方は、電話機の取扱説明書をご参照ください。

原因 本製品の USB コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

原因 電話機の接続コネクタが違う。

対処 接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書をご参照ください。

本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。

原因 すでにインストール済みである。

対処 本製品を１度インストールすると、本製品の USB コネクタを差しこんでも「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は表示されません。USB コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因 本製品が誤認識さている。

対処

1. 本製品を差したまま、P16「デバイスマネージャによる確認」の手順1，2を行います。
2. [その他のデバイス]が表示されていれば、その下に表示されている[不明なデバイス]または「USB Device」を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

3. [その他のデバイス]が表示されていない場合は、[接続別に表示]をチェックして、USBホストコントローラの下に、[不明なデバイス]または「USB Device」がないかどうか探します。あれば、そのデバイスを選択して、[削除]ボタンをクリックします。
4. 本製品をもう一度抜き差しします。ウィザード画面が表示されたら、P11「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールを行ってください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された

原因 検索場所の指定が間違っている。

対処 [戻る]ボタンを押して、サポートソフトCD-ROMがセットされているか確認して、もう一度、検索場所の指定を行ってください。
CD-ROMの中の「WIN98」フォルダをハードディスクにコピーしている場合は、コピーしたドライブ名やフォルダ名の指定に間違いがないか確認してください。

「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された

原因
USB ポートに問題がある。

対処
拡張ボードなどの USB ポートでなく、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。また、USB ハブの場合、他の USB ポートに差すか、別の USB ハブに変えてみてください。差し込んだときに表示される画面（P12 参照）で「不明なデバイス」または「USB Device」と表示されていれば正常に認識されていますので、インストールをすすめてください。

デバイスマネージャの「モデム」の確認で、「I-O DATA USB-H64」が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因
パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処
一度 USB ポートから本製品を抜き、しばらくしてから、再度取り付け直してみてください。

原因
本製品が誤認識されている（表示されない場合）。

対処
「本製品を接続しても新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示されない」の項目の「本製品が誤認識されている」 P 44 の対処方法を参照してください。

原因
正しくインストールされていない（「！」マークの場合）。

対処
P21【インストールした情報を削除する場合】を実行し、いったんサポートソフトをアンインストールします。その後、P11【サポートソフトのインストール】を参照して、インストールをやり直してください。

デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の確認で、「I-O DATA USB-H64 Modem」が表示されない

原因
パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処
パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。
一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因
正しくインストールされていない。

対処
P21【インストールした情報を削除する場合】を実行し、いったんサポートソフトをアンインストールします。その後、P11【サポートソフトのインストール】を参照して、インストールをやり直してください。

モデムの確認で、[詳細情報]ボタンをクリックしたとき、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。
一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 P21【インストールした情報を削除する場合】を実行し、いったんサポートソフトをアンインストールします。その後、P11【サポートソフトのインストール】を参照して、インストールをやり直してください。

インターネットに必要なネットワーク構成のトラブル

ダイヤルアップネットワークが表示されない

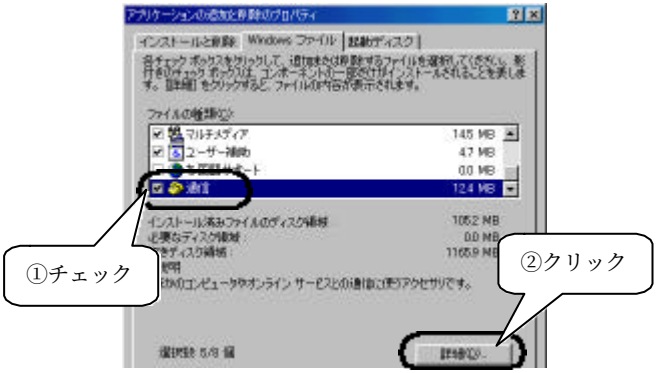
原因 ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。

対処 下記の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

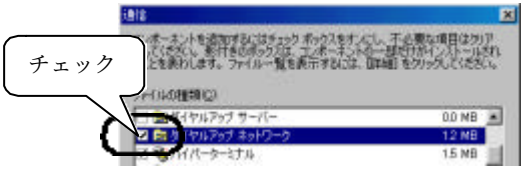
1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [Windows ファイル]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。お待ちください。

3 [通信]をチェックし、[詳細]ボタンをクリックします。

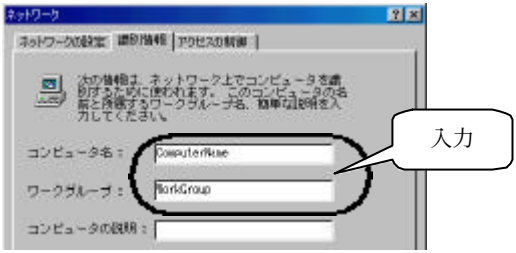


4 [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



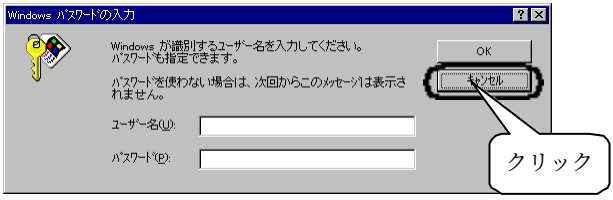
5 前ページ **3** の画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックします。Windows 98 の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

6 下記の画面になったら、コンピュータ名とワークグループ名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。
これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（「コンピュータの説明」は省略可）。



7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。

8 Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない

原因 ダイヤルアップアダプタや TCP/IP がインストールされていない。

対処 下記の手順でダイヤルアップアダプタや TCP/IP をインストールします。

●「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」の両方の表示が無い場合のインストール手順

以下の手順で「TCP/IP」をインストールすることによって、両方とも（「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」）がインストールされます。

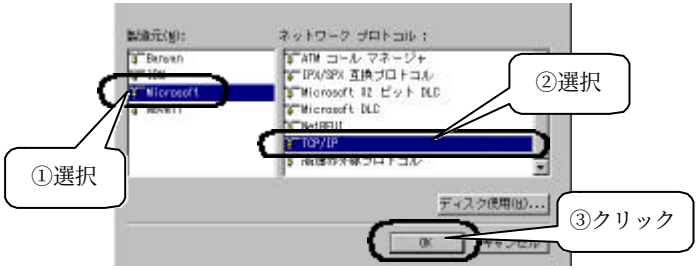
1 [ネットワーク]を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。

3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[ＯＫ]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

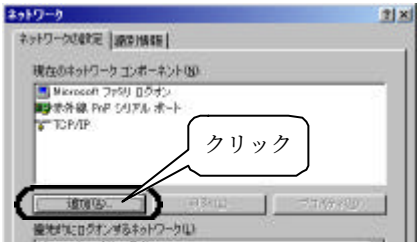


5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

●「ダイヤルアップアダプタ」のみ表示が無い場合のインストール手順（「TCP/IP」の表示がある場合）

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

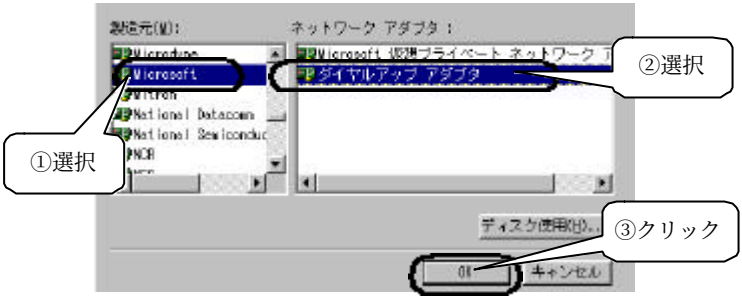
2 [追加]ボタンをクリックします。



3 [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4

[Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



5

[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

インターネットに正しく接続されない場合

「発信音が聞こえません」と表示される

原因 電話機の電源が入っていない。
対処 電話機の電源を入れてからもう１度接続してください。

原因 電話機の接続コネクタに、本製品が正しく接続されていない。
対処 電話機の接続コネクタをきちんと差し込んでから（カチッと音がするまで）もう１度接続してください。

原因 正しくインストールされていない。
対処 P16【インストール終了後の確認と設定】を参照になり、正しくインストールされていることを確認してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される

原因 「ダイヤルのプロパティ」で設定した市外局番が「000」になっていない。
対処 ダイヤルアップ接続画面で、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、市外局番を「000」にしてください。

原因 接続先の電話番号が違っている、または、指定した電話番号がPIAFS 対応のアクセスポイントではない。
対処 ダイヤルアップ接続画面が表示されたら、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。本製品はPIAFS 対応のアクセスポイントにしか接続できません。プロバイダにご確認ください。

原因 接続先のアクセスポイントがPIAFS 2.1 版に対応していない。
対処 PIAFS 2.1 版に対応していないプロバイダでは、64kbps 通信はできません。プロバイダにご確認ください。PIAFS 1.0 版に対応していれば、P32「通信方式を変えるには」を参照して、PIAFS 1.0 版に変更して接続してください。なお、その場合は 32kbps 通信になります。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処 時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 P16【インストール終了後の確認と設定】を参照になり、正しくインストールされていることを確認してください。

「回線が使用中です」と表示される

原因 ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。

対処 ダイヤルアップ接続画面で、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、ダイヤル方法が「トーン」になっているか確認してください。ダイヤル方法が確認できたら、【モデムの確認と設定】の手順４（P18）で正しく設定してください。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました」と表示される

原因 接続先の電話番号が違っている。

対処 ダイヤルアップネットワークの接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。プロバイダに電話番号を確認してください。

原因 パソコンの USB ポートに、本製品がきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。

接続動作はするようだが、接続インジケータが表示されない

原因 指定した電話番号が PIAFS 対応のアクセスポイントではない。

対処 プロバイダにご確認ください。本製品は PIAFS 対応のアクセスポイントにしか接続できません。
ダイヤルアップネットワークの接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を入力してください。

ハードウェア仕様

■ アダプタ部

制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	12芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	32/64kbps
通信規格	PIAFS 1.0/2.1版,RCR-STD28準拠

■ 一般仕様

機器名	USB-H64
端末インターフェイス	USB Specification Rev1.0準拠
電源電圧	バスパワー/5.0V
消費電流	50mA(Max)
使用温度湿度範囲	温度：0～40℃(パソコンの動作温度範囲であること) 湿度：35～90％（ただし、結露なきこと）
ケーブル長	約30cm
コネクタ寸法	W33×H51×D11（mm）
質量	約22.0g
認証番号	A00-0478JP

用語解説

bps（ビーピーエス）　(Bit per Second)

データ通信速度の単位です。1秒間に送受信できるビット数を表します。
例）64kbpsは1秒間に65536bit（64×1024bit）の情報を送受信します。

COM ポート（コムポート）

Windowsではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

ITU-T（アイティーユー・ティー）

ITU（国際通信連合）の付属機関である国際電信電話諮問委員会(旧CCITT)を指します。国際通信に関する審議と勧告を行います。

PIAFS（ピアフ）　(PHS Internet Access Forum Standard)

PHSやH"などの端末を使ったデジタルデータ通信規格。PIAFSプロトコルという専用のプロトコルを使い、接続先がPIAFS対応の場合はわずか1秒程度で認識が完了します。
32kbpsで通信するPIAFS1.0版と、64kbpsで通信するPIAFS2.0/2.1版の規格があります。

PPP（ピーピーピー）　(Point-to-Point Protocol)

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約。不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）　(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル（＝通信規約）一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。インターネットでは一般的に使われています。

USB（ユーエスビー）　(*Universal Serial Bus*)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開されました。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USBポートから電源供給が可能である。
- 複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持っています。
転送速度は、高速用に12Mbps（シールド付きケーブルで最長５mまで）と、低速用に1.5Mpbsの２種類あります。本製品は1.5Mbpsタイプ。

プロトコル

通信規約。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決め（通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など）。

プロバイダ

インターネットプロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、インターネットプロバイダと呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット **http://www.iodata.co.jp/support/**
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E_Mail をお送りください。

@nifty **ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA） サポート会議室**

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町１５街区７ ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-H64」係宛

■電話

電話番号 東京 03-5256-2010
受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号 東京 03-3254-9055
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-H64」係 宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」
@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA）　ライブラリ　8（LIB 8）

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町１５街区７
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-H64」 バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

- パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社 PLANT コールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区7　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-H64」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

電話番号　本社　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

USB-H64 取扱説明書
2000.May.30 70643-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール